

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2018年7月2日

【四半期会計期間】 第47期第3四半期(自 2018年2月21日 至 2018年5月20日)

【会社名】 ケイティケイ株式会社

【英訳名】 ktk INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 土 岐 勝 司

【本店の所在の場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 管理本部副本部長 青 山 敏 久

【最寄りの連絡場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 管理本部副本部長 青 山 敏 久

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
ケイティケイ株式会社 東京支店
(東京都品川区東五反田一丁目20番7号 神野商事第2ビル 5F)
ケイティケイ株式会社 大阪支店
(大阪市中央区南船場一丁目13番14号 南船場スクエアビル 4F)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期 連結累計期間	第47期 第3四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 2016年8月21日 至 2017年5月20日	自 2017年8月21日 至 2018年5月20日	自 2016年8月21日 至 2017年8月20日
売上高 (千円)	12,606,370	12,805,513	16,860,547
経常利益 (千円)	279,651	282,982	252,368
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	228,414	191,404	219,369
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	270,363	201,807	273,380
純資産額 (千円)	2,831,871	2,968,031	2,834,888
総資産額 (千円)	8,932,519	8,651,722	8,274,759
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	39.91	33.44	38.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	31.7	34.3	34.3

回次	第46期 第3四半期 連結会計期間	第47期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2017年2月21日 至 2017年5月20日	自 2018年2月21日 至 2018年5月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.16	12.22

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンでは、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（2017年8月21日～2018年5月20日）におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果により、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性や金融市場の変動の影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境の中、前期事業計画を更に高度なものへと進化させた当期事業計画「ktkアドバンスドプラン Ver.2」を策定し、営業、生産、管理・経営、調達・物流の各部門に「営業量の拡大、選択と集中」「原価低減、ラインナップ拡充、品質改善、生産管理の見える化と次世代モノづくりの検討」「原価削減と現場強化、春日井工場商材の拡販サポート」「企業価値、業務効率の向上と教育制度の充実による社員のレベルアップ」「更なるコストダウンとサービスレベル&効率のアップ」を戦略に掲げ、全社一丸となって邁進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、モバイル機器（タブレット型PCやスマートフォン）の活用や社用車の一人一台専用化、社員の自宅近くに社用車専用駐車場を整備するなどの営業部門の直行直帰体制の強化等により、営業効率の向上と営業時間の拡大が図られ、売上は前年同四半期に比べ増加いたしました。利益面におきましては、売上が増加したことに加え、前事業計画に引き続き、製造コストと調達コストの削減を実現させたことにより拡大いたしました。しかしながら、特別損失に社葬費用を計上したことや、近年の収益改善から繰越欠損金の回収可能性が高まる中で、前期においては税効果による評価性引当金を取り崩し、法人税等が減少したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,805,513千円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は256,365千円（前年同四半期比5.6%増）、経常利益は282,982千円（前年同四半期比1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は191,404千円（前年同四半期比16.2%減）となりました。

なお、連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節の変動があります。

また、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ376,962千円増加し、8,651,722千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ286,455千円増加し、5,726,732千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が611,691千円増加し、現金及び預金が379,269千円減少したこと等によりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ90,506千円増加し、2,924,989千円となりました。これは、主に有形固定資産が73,505千円、投資その他の資産が46,301千円増加し、無形固定資産が29,300千円減少したことによりです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ216,230千円増加し、4,990,696千円となりました。これは、主に短期借入金が230,911千円増加したこと等によりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ27,589千円増加し、692,994千円となりました。これは、主に長期借入金が17,107千円増加したこと等によりです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ133,142千円増加し、2,968,031千円となりました。これは、主に利益剰余金が122,738千円増加したこと等によりです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループでは、リサイクル新商品に関する研究開発活動を行っており、当第3四半期連結累計期間の研究開発費は13,315千円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2018年5月20日)	提出日現在 発行数(株) (2018年7月2日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,725,000	5,725,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	5,725,000	5,725,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年5月20日		5,725		294,675		663,325

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2018年5月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,721,600	57,216	
単元未満株式	普通株式 600		
発行済株式総数	5,725,000		
総株主の議決権		57,216	

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式61株を含んでおります。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2018年2月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2018年5月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ケイティケイ株式会社	名古屋市東区泉 二丁目3番3号	2,800		2,800	0.05
計		2,800		2,800	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2018年2月21日から2018年5月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(2017年8月21日から2018年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、五十鈴監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,400,751	2,021,481
受取手形及び売掛金	2,430,617	3,042,309
商品及び製品	430,347	460,387
仕掛品	541	485
原材料及び貯蔵品	48,848	61,413
その他	130,205	145,091
貸倒引当金	1,036	4,437
流動資産合計	5,440,276	5,726,732
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,116,221	1,116,221
その他(純額)	460,922	534,428
有形固定資産合計	1,577,143	1,650,649
無形固定資産		
のれん	85,444	81,171
その他	54,201	29,172
無形固定資産合計	139,645	110,344
投資その他の資産		
その他	1,133,986	1,203,441
貸倒引当金	16,293	39,446
投資その他の資産合計	1,117,693	1,163,995
固定資産合計	2,834,483	2,924,989
資産合計	8,274,759	8,651,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,009,031	3,012,156
短期借入金	1,233,268	1,464,179
未払法人税等	43,329	59,845
賞与引当金	85,613	80,034
役員賞与引当金	17,424	
その他	385,799	374,481
流動負債合計	4,774,465	4,990,696
固定負債		
長期借入金	223,805	240,912
役員退職慰労引当金	97,048	92,645
退職給付に係る負債	116,168	123,277
その他	228,383	236,159
固定負債合計	665,405	692,994
負債合計	5,439,870	5,683,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	663,325	663,325
利益剰余金	1,742,473	1,865,212
自己株式	1,281	1,281
株主資本合計	2,699,192	2,821,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,696	146,100
その他の包括利益累計額合計	135,696	146,100
純資産合計	2,834,888	2,968,031
負債純資産合計	8,274,759	8,651,722

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自2016年8月21日 至2017年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年8月21日 至2018年5月20日)
売上高	12,606,370	12,805,513
売上原価	10,042,674	10,200,836
売上総利益	2,563,695	2,604,677
販売費及び一般管理費	2,320,889	2,348,311
営業利益	242,806	256,365
営業外収益		
受取利息	488	180
受取配当金	7,965	8,372
仕入割引	37,568	34,326
受取家賃	45,460	41,916
その他	6,871	7,421
営業外収益合計	98,354	92,216
営業外費用		
支払利息	9,193	6,800
売上割引	36,567	45,235
その他	15,747	13,564
営業外費用合計	61,508	65,599
経常利益	279,651	282,982
特別利益		
固定資産売却益		1,373
保険解約益	3,863	
特別利益合計	3,863	1,373
特別損失		
固定資産除却損		4,665
社葬費用		15,778
特別損失合計		20,443
税金等調整前四半期純利益	283,514	263,912
法人税、住民税及び事業税	59,542	81,679
法人税等調整額	4,442	9,171
法人税等合計	55,099	72,508
四半期純利益	228,414	191,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	228,414	191,404

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2017年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2018年5月20日)
四半期純利益	228,414	191,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,948	10,403
その他の包括利益合計	41,948	10,403
四半期包括利益	270,363	201,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,363	201,807
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2017年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年5月20日)
受取手形	2,471千円	4,753千円
支払手形	49,308千円	35,391千円

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンでは、多くの顧客の年度末にあたる当社第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2017年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2018年5月20日)
減価償却費	75,667千円	69,986千円
のれんの償却額	4,272千円	4,272千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2016年8月21日 至 2017年5月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2016年11月11日 定時株主総会	普通株式	28,610	5	2016年8月20日	2016年11月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年8月21日 至 2018年5月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年10月3日 取締役会	普通株式	68,665	12	2017年8月20日	2017年10月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、サプライ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2017年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2018年5月20日)
1株当たり四半期純利益金額	39円91銭	33円44銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	228,414	191,404
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	228,414	191,404
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,722,139	5,722,139

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年7月2日

ケイティケイ株式会社
取締役会 御中

五十鈴監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 西 野 賢 也 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岩 田 哲 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているケイティケイ株式会社の2017年8月21日から2018年8月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2018年2月21日から2018年5月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(2017年8月21日から2018年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ケイティケイ株式会社及び連結子会社の2018年5月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。